

■新規セミナー確認テスト■ 訪問介護

(問) 以下の事例について、「訪問介護サービス」に該当する場合は○を、該当しない場合は×を記載してください。

(1) 単位でPDCAサイクルを構築・推進することにより、提供するサービスの質の向上に努めなければならない。

(2) 事業所の運営規程には、虐待の防止のための措置に関する事項を記載する必要がある

(3) 事業所ごとに、独立した虐待防止検討委員会を必ず設置しなければならない。

(4) 指定居宅サービス事業者は、従業者に対し、感染症の予防及びまん延の防止のための研修及び訓練を定期的実施しなければならない。

(5) 指定居宅サービス事業者は、感染症に係る業務継続計画だけを策定しておけばよい。

(6) 指定居宅サービス事業者は、職場におけるセクシュアルハラスメントやパワーハラスメントの防止のための措置を講じなければならないが、セクシュアルハラスメントについては、上司や同僚に限らず、利用者やその家族等から受けるものも含まれる。

(7) 配剤された薬をテーブルの上に出し、飲み忘れないように確認し、本人が薬を飲むのを手伝った。

(8) 医師や訪問看護事業所の指示によりリハビリを実施した。

(9) タオルなどを準備し、洗髪、髪を乾かし整髪した。

(10) 美容師免許を持った訪問介護員が理美容サービスを目的で訪問し、髪をカットした。

(11) 遠方のデパートへの買い物に利用者を連れて行った。

(12) 利用者から暗証番号を聞いてキャッシュカードを預かり、訪問介護員がひとりで銀行のATMに行き、依頼額の現金を引き出した。

(13) 利用者が外出中に居宅を訪問し、掃除を行った。

(14) 衣類の整理(夏・冬物等の入れ替え等)を行った。

(15) 洗濯物を利用者と一緒に干し、たたんで自立支援を促した。

(16) 年末に大掃除を行った。

(17) 家族が留守の間、安全確保のため見守りをしていた。

(18) 利用者が趣味で行っている近所の公園までの散歩にヘルパーも同行した。

(19) 訪問介護事業所において配食サービス事業も行っているため、利用者宅へお弁当を届け、訪問介護費を算定した。

(20) 利用者が選挙に出かけるため、付き添った。

(21) 予め決まっていた利用者の入院にヘルパーが付き添った。

(22) サービス提供してから概ね2時間未満の間隔で再度指定訪問介護が行われた場合には、それぞれの所要時間を合算する。

(23) 通院等乗降介助について、目的地が複数ある場合であっても、居宅が始点又は終点であれば、異なる事業所が行っても算定は可能である。

(解答欄)

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

(8)

(9)

(10)

(11)

(12)

(13)

(14)

(15)

(16)

(17)

(18)

(19)

(20)

(21)

(22)

(23)